告示番号 2　**慢性呼吸器疾患　　平成（　　）年度 小児慢性特定疾病　医療意見書**

受給者番号（　　）	新規登録 ・ 継続 ・ 転入（転出地：　　）				
患者	ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	平成　年　月　日（満　歳）	
出生都道府県※1		出生体重	g	出生週数	在胎　週
現在の身長※2	.　cm	現在の体重※2	.　kg	母の生年月日	昭和 平成　年　月　日
発病	年　月 頃	初診日	年　月　日		
大分類病名	4 間質性肺疾患	細分類病名	4 特発性間質性肺炎		

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入

※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入

1.臨床所見

現在の症状

該当するものに○をつけ、必要な場合には（ ）内に記載

低酸素血症（ なし ・ あり ）　多呼吸（ なし ・ あり ）　→ 左記の二症状が2週間以上持続（ なし ・ あり ）

成長障害（ なし ・ あり ）　ばち指（ なし ・ あり ）

心不全（ なし ・ あり ）　咳嗽（ なし ・ あり ）

喘鳴（ なし ・ あり → 吸気 ・ 呼気 ・ 呼気吸気ともに ）

その他の特記すべき症状（ なし ・ あり → 詳細：　　）

2.検査所見

診断の根拠となった主な検査等の結果

該当するものに○をつけ、必要な場合には（ ）内に記載（数値を用いて具体的に） 継続は現在の状況を記載

画像検査　びまん性の間質性陰影（ なし ・ あり ）

上記以外の所見（ なし ・ あり → 所見：　　）

血液検査　血清マーカー（KL-6、SP-A、SP-D）いずれか1つ以上の上昇（ なし ・ あり ）

KL-6（　　）IU/ml　SP-A（　　）ng/ml　SP-D（　　）ng/ml

以下のびまん性の間質性肺疾患の否定（ 未 ・ 済 ）

心疾患、感染症、免疫不全、膠原病、重篤な嚥下機能障害、新生児慢性肺疾患（CLD）、新生児呼吸窮迫症候群、嚢胞性肺線維症、薬剤性間質性肺炎、びまん性間質性陰影をきたしうる他の肺疾患（肺胞蛋白症、肺胞微石症など）

肺機能検査　検査実施日（　　年　　月　　日）

肺機能　VC（　　）mL　%VC（　　）%

FEV1.0（　　）mL　%FEV1.0（　　）%

FEV1.0%（　　）%

拡散能　DLco（　　）mL/min/mmHg　DLco/VA（　　）mL/min/mmHg/L

血液ガス分析　採血部位（ 動脈血 ・ 静脈血 ）

酸素吸入（ なし ・ あり → 酸素吸入条件：　　）

pH（　　）　PO_2（　　）torr

PCO_2（　　）torr

肺生検（ 未実施 ・ 実施 → 開胸 ・ 胸腔鏡 、所見：　　）

遺伝学的検査　遺伝子検査（ 未実施 ・ 実施 ）

SP-C遺伝子異常（ なし ・ あり ）　SP-B遺伝子異常（ なし ・ あり ）　*ABCA3* 遺伝子異常（ なし ・ あり ）

その他の遺伝子異常（ なし ・ あり → 所見：　　）

その他の検査（ なし ・ あり → 所見：　　）

3.その他の所見

その他の現在の 所見など

合併症（ なし ・ あり → 詳細：　　）

4. 経 過

現在の治療

ステロイド使用（ なし ・ あり → 経口 ・ 吸入 ）

免疫抑制薬の使用（ なし ・ あり ）

現在の治療（ なし ・ あり → 人工呼吸管理 ・ 酸素療法 ・ 気管切開管理 ・ 中心静脈栄養 ・ 経管栄養 ）

過去の主な治療・検査など

5. 今後の療法方針

就学・就労	1. 就学前　2. 小中学校（ 通常学級 ・ 通級 ・ 特別支援学級 ）　3. 特別支援学校（ 小中学部 ・ 専攻科を含む高等部 ） 4. 高等学校（専攻科を含む）・高等専門学校 ・ 専門学校/専修学校など　5. 大学（短期大学を含む）　6. 就労（就学中の就労も含む） 7. 未就学かつ未就労　8. その他（　　）
現状評価	一つに○印 ： 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当： しない ・ する ・ 不明　　人工呼吸器等装着者認定基準に該当： しない ・ する ・ 不明
治療見込期間	入院　年　月　日 から　年　月　日 まで 通院　年　月　日 から　年　月　日 まで（ 月　回 ）

上記の通り診断します。

医療機関名
および
所在地

科

平成　年　月　日　　医師名　　印

小児慢性特定疾病指定医番号